



平成24年2月7日

各位

会社名 株式会社 博報堂DYホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 戸田 裕一  
 (コード番号 2433 東証第一部)  
 問合せ先 I R 部長 八木 聡  
 (TEL 03-6441-9033)

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結) 参考資料

本日公表しました平成24年3月期 第3四半期決算短信の主要な点につきまして以下の通りまとめましたので、参考資料とさせていただきます。

記

1. 連結損益計算書 要約 (平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(単位：百万円)

	平成23年3月期 第3四半期累計	平成24年3月期 第3四半期(実績)	前年同期比	
			増減額	(%)
売上高	672,072	690,516	18,443	2.7%
売上総利益	109,583	113,462	3,878	3.5%
(売上総利益率)	(16.3%)	(16.4%)	(+0.1%)	
販管費	101,163	102,541	1,378	1.4%
営業利益	8,420	10,921	2,500	29.7%
(オペレーティング・マージン)	(7.7%)	(9.6%)	(+1.9%)	
営業外損益	2,351	1,825	△ 526	
経常利益	10,772	12,746	1,974	18.3%
特別損益	△ 2,193	△ 2,138	55	
税引前利益	8,578	10,607	2,029	23.7%
四半期純利益(損失)	1,921	2,280	359	18.7%

(オペレーティング・マージン) = 営業利益 / 売上総利益

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)における日本経済は、東日本大震災やタイの洪水、欧州の政府債務危機などを背景とした景気下振れリスクの影響等により、依然として厳しい状況が続いております。

国内広告市場(注1)においては、震災直後となる第1四半期(4～6月)には前年同期比6.2%減とマイナスで推移したものの、第2四半期(7～9月)には同2.9%増とプラスに転じました。第3四半期(10～12月)については前年同期比でマイナスで推移する見込みであるものの、第3四半期累計では回復基調が見られます。

このような環境下、当社グループは、中期基本戦略である「次世代型の統合マーケティング・ソリューションの実践を通じて、企業のマーケティング活動全体の最適化を実現する責任あるパートナーとなる」ことをベースとして積極的な営業活動を継続してまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6,905億16百万円(前年同期比2.7%増)、売上総利益1,134億62百万円(同3.5%増)、営業利益109億21百万円(同29.7%増)、経常利益127

億46百万円（同18.3%増）、税金等調整前四半期純利益は106億7百万円（同23.7%増）、四半期純利益は22億80百万円（同18.7%増）と、いずれも前年同期を上回る利益水準となりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高を種目別に見ますと、テレビ広告はスポット広告が引き続き堅調に推移して前年同期を上回ったものの、マスメディア取引全体では前年同期を0.8%下回る結果となりました。一方、非マスメディア取引は、新規子会社の寄与等によりインターネットメディアが大幅に増加するなど、前年同期を9.8%上回りました。

また、売上高を得意先業種別に見ますと、多くの業種で回復基調に入ってきましたが、中でも構成比の高い「自動車・関連品」や、「飲料・嗜好品」が第3四半期（10～12月）で大幅に増加しました。なお、当第3四半期連結累計期間における主な増加業種は、「自動車・関連品」、「外食・各種サービス」、「不動産・住宅設備」等となっております。一方、主な減少業種は、「官公庁・団体」、「金融・保険」、「情報・通信」等となっております。（注2）

（注1）「特定サービス産業動態統計調査」（経済産業省）によります。

（注2）当社の社内管理上の区分と集計によります。

## 2. 連結貸借対照表 要約（平成23年12月31日）

（単位：百万円）

	平成23年3月末		平成23年12月末		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	(%)
流動資産	362,086	76.4%	347,421	74.9%	△ 14,664	-4.1%
固定資産	112,039	23.6%	116,644	25.1%	4,605	4.1%
資産合計	474,126	100.0%	464,066	100.0%	△ 10,059	-2.1%
流動負債	255,999	54.0%	244,403	52.6%	△ 11,596	-4.5%
固定負債	11,670	2.5%	11,961	2.6%	291	2.5%
負債合計	267,670	56.5%	256,365	55.2%	△ 11,305	-4.2%
株主資本	199,213	42.0%	198,910	42.9%	△ 302	-0.2%
評価・換算差額等	△ 2,506	-0.5%	△ 730	-0.1%	1,775	
新株予約権	154	0.0%	232	0.0%	77	50.3%
少数株主持分	9,593	2.0%	9,288	2.0%	△ 305	-3.2%
純資産合計	206,455	43.5%	207,701	44.8%	1,245	0.6%
負債及び純資産合計	474,126	100.0%	464,066	100.0%	△ 10,059	-2.1%

### 3. 通期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

当第3四半期連結累計期間の業績及び最近の業績動向をふまえ、平成23年11月10日に公表いたしました平成24年3月期通期の連結業績見通しを以下の通り修正いたしました。

(単位：百万円) (参考)

	平成23年3月期	平成24年3月期	前期比		5月12日発表の 当期見通し
	実績	見通し	増減額	(%)	
売上高	936,476	972,000	35,523	3.8%	943,000
営業利益	14,266	18,000	3,733	26.2%	14,400
経常利益	17,107	20,000	2,892	16.9%	16,400
当期純利益	4,550	5,600	1,049	23.1%	6,400
(オ <sup>レ</sup> レーティング・マージン)	(9.4%)	(11.2%)	(+1.9%)		(9.4%)

(オ<sup>レ</sup>レーティング・マージン) = 営業利益 / 売上総利益

(単位：百万円)

	上期			下期			通期		
	平成24年3月期	前年同期比		平成24年3月期	前年同期比		平成24年3月期	前年同期比	
	実績	増減額	(%)	見通し	増減額	(%)	見通し	増減額	(%)
売上高	430,994	△ 3,138	-0.7%	541,005	38,661	7.7%	972,000	35,523	3.8%
営業利益	2,488	△ 350	-12.3%	15,511	4,083	35.7%	18,000	3,733	26.2%
経常利益	3,857	△ 294	-7.1%	16,142	3,186	24.6%	20,000	2,892	16.9%
当期純利益(損失)	△ 889	2,453	-	6,489	△ 1,404	-17.8%	5,600	1,049	23.1%
(オ <sup>レ</sup> レーティング・マージン)	(3.5%)	(-0.5%)		(17.3%)	(+3.3%)		(11.2%)	(+1.9%)	

(オ<sup>レ</sup>レーティング・マージン) = 営業利益 / 売上総利益

注) 下期見通しは、通期見通し - 上期実績

#### (修正の理由)

平成23年11月の時点では、国内広告市場回復のタイミングが、やや期初の想定よりも早く、通期の業績が期初の予想を上回る可能性があるとして見しておりました。しかしながら、その時点では、予想を変更するだけの確かな判断材料がなかったため、通期の業績予想については、5月12日に公表しました予想から変更を行いませんでした。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比2.7%増加と回復基調が鮮明となり、また、第4四半期の売上高見通しも堅調であることから、今回、通期の連結業績の見直しを行いました。

その結果、通期の売上高を、前回公表時の見通し9,430億円(前年同期比0.7%増)から、9,720億円(同3.8%増)に修正しております。また、引き続き、売上総利益率の向上、販売費及び一般管理費のコントロールに努めることで、営業利益、経常利益とも前回公表時の見通しを上回る見込みであります。しかしながら、当第3四半期連結累計期間に特別損失に計上した減損処理による投資有価証券評価損が第2四半期連結累計期間から増加したことや、法人税率引下げに関する法律が公布(平成23年12月2日)されたことに伴い、繰延税金資産の一部取り崩しを織り込んだことなどにより、当期純利益は、前回公表時の見通しを下回る見込みであります。

(注1) 当社は、投資有価証券の減損処理に当たっては、四半期洗い替え法を採用しており、平成24年3月期末日の時価によっては、投資有価証券評価損計上額が変動する場合があります。

(注2) 業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上